芦安中学校だより

第11号
校長　石原敬彦
2020　3.24

3月11日（水），第73回卒業証書授与式を挙行しました

３月11日(水)，第73回卒業証書授与式を挙行しました。新型コロナウイルスの感染防止のため，南アルプス市内の全小中学校において，参加者は，卒業生と学校の職員のみ，また，時間は卒業生の登校から下校までを一時間程度として，その中ですべてを終了するという確認のもとでの実施となりました。中学校生活最後の学級会の時間も確保してあげたかったため，例年の約三分の一の時間で卒業式も終えなければなりませんでしたが，五名の卒業生は，終始品格のある態度で臨み，立派に三年間の有終の美を飾りました。校長の式辞も短縮いたしました。この日，私がお伝えしたかった本来の内容は，印刷して式の終了後に卒業生にお渡ししました。当日私は，さまざまな想いが込み上げてきて涙がこらえきれず，しっかりと式辞を申し上げることができませんでした。お詫び申し上げます。当日の式辞の原稿はこのたよりの最後に載せさせていただきます。本来ならば五名の卒業にあたり，式の中で地域・来賓の皆様，保護者の皆様に改めて心より感謝の言葉を申し上げるべきところですが，時間を短縮するため，当日の式辞は卒業生五名に対してのみの言葉とさせていただきました。式後に卒業生にお渡ししました原稿の中で皆様への感謝をお伝えさせていただいております。ご理解いただき，ご容赦いただけると幸いです。

卒業式を終えて，参加者全員で。輪かんじきは在校生に代わって職員から贈呈しました。
当日は，換気を徹底し，全員がマスクを着用しました。証書の授与，答辞、一人ひとりの決意発表，写真撮影のときのみ，マスクを外しました。

卒業式当日の校長式辞

五名の卒業生のみなさん、卒業おめでとう。例年どおり卒業式を行ことができた場合にお話しするはずだった内容は，別に用意いたしました。　式の終了後，お渡ししますので，どうか読んでください。ここでは、みなさんとの忘れられない思い出の中から一つだけお話ししたいと思います。昨年の四月二十五日木曜日、夜九時三十九分。私はみなさんの写真を撮りました。とっさに撮った写真なので上手な写真ではありません。ただ、私はこの写真が大好きです。みなさんはそれがどんな写真なのか覚えていますか。それは、みなさんと行った修学旅行の二日目の夜、座禅体験を終えた帰り道に撮った写真です。京都駅を出て、宿泊するホテルの真ん前の横断歩道で、みなさんは、隣同士で腕を組んで五人が横一列に並んで一緒に横断歩道した。日付と時間がその時の写真に記録されています。みなさんの仲の良さと絆の深さをしみじみと感じた瞬間でした。私はそんなみなさんがとにかく大好きでした。私はみなさんの入学から卒業までみなさんと一緒にいることができて本当に幸せでした。今こうして立派に成長したみなさんを私は心から誇りに思います。この三年間、みなさんに話をさせていただく機会を与えられるたびに、私なりにその時に一番大切だと思うことをお話ししてきましたが、振り返ってみると、みなさんはいつも真剣に私の話を聞いてくれました。今はただ感謝の気持ちで一杯です。卒業生のみなさん、本当に今日までありがとう。芦安中学校はいつまでもみなさんの母校です。この先ここから遠く離れることがあったとしても、芦安中学校はずっとみなさんの母校であり続けます。芦安中学校を卒業したことを誇りにしてください。そしていつでも帰って来てください。みなさんの輝かしい未来に思いを馳せ、みなさんの前途に幸あらんことをお祈りして、私のはなむけの言葉といたします。

令和二年三月十一日　南アルプス市立芦安中学校　校長　石原　敬彦